

町政を問う。

3人の議員が一般質問

光

Q 然別湖周辺の整備

A 園地のバリアフリー化検討



狩野正雄議員

(質問)

秋の観光シーズンを迎へ、然別湖には多くの来訪者が訪れている。休止していたかんの温泉が再開の見通しと報道されるなど、町民に期待が広がっている。
美しい自然景観と心を癒す温泉のぬくもりは観光客のなによりの楽しみである。しかし、然別湖畔には長く急な階段や橋のない川があるため遊覧船や足湯の楽しみを断念してしまいう方もいる。

高齢者や障がい者にも対応するバリアフリー化などの整備計画は。

(答弁) 吉田町長

永年の自然災害や水位変化の影響で転落防止柵が老朽化するなど、安全や景観が損なわれ

ている。

スロープや橋の設置など園地で憩いを求める事ができるようにすることや、雑木処理を行い湖面が見渡せる遊歩道など自然公園法の基本理念にのっとり計画を作成し、再整備を進める。

(質問)

然別休養施設(旧北電寮)の修繕を行ったが、今後の利用計画は。

(答弁) 吉田町長

大雪山系の自然紹介や関連する資料の展示、登山者の安全確保に必要な機能を備える施設として改修を行い、民間資本の活用も検討している。

(質問)

山田温泉とかんの温泉を結ぶ峰越線再開見通しは。

(答弁) 吉田町長

平成18年より現在まで通行止めになっている。然別湖から然別峡への横断道として山の維持管理、観光資源活用として峰越線の役割は大きい。

また防災の視点からも整備は必要であり、国と協議して復旧させたい。

地球科学

Q ジオパーク施設を

A 対応出来るよう進める



加納茂議員

(質問)

ジオパーク認定に向けた取り組みが町を挙げて行われているが、然別湖周辺の全体像を示したジオラマや生息する動植物の標本などを展示するミニ博物館の要件を備えたインフォメーションセンターと呼べる施設が必要

ではないか。
また、本町で行っている地球学の環境教育の一環として、鹿追町の自然を理解するための教育施設として位置付け役立てることもできることから、その設置を望む。

(答弁) 吉田町長

質問のインフォメーションセンターについては、観光客へのインフォメーション機能や、児童生徒への新地球学の事前学習を可能とする教育施設を兼ね備えたものというところで必要性を認識しているが、現段階では既存施設の有効利用を主に検討していきたい。

(質問)

同じ国立公園の隣町(上士幌町)では、国の折半で建てる事が報道されているがこのような方法がとれないのか。

(答弁) 吉田町長

新たに国立公園内に建物を建てるのは難しい。隣町では既存の博物館の老朽化によりそれが可



然別湖上流でのリバーウォッチング

能になった。
新たな施設ということでは、現在考えていないが将来展望としては状況によって考えていきたい。

町づくり

Q 職員提案の充実

A 充実させたいと考える



飯沼新吾議員

(質問)

現在、町職員の数は臨時職員も含めて228人。職員にはそれぞれ優れた能力があり、一人ひとりに発想やアイデアがあると考える。今年度は「職員自主研修支援制度要領」が施行され既に一部実行されているが、この制度の更なる充実と、優秀な提案に対する評価表彰等は。

(答弁) 吉田町長

平成12年に職員の提言、提案制度を取り入れ、現在のバイオガスの実施、また花と芝生の町づくり等々には大きく寄

与したものの。
今年度からの職員自主研修に2つのグループからの申し出があり、1グループについては、昨年の東日本大震災の教訓から防災拠点施設として役場庁舎のあり方や災害発生時の職員の業務継続計画の策定などをテーマに先進地への視察研修を行い研究成果を期待している。

(答弁) 吉田町長

出来れば新年度から具現化していきたい。
職員には細かい所にも気の付く職員になって欲しいと希望している。

もうひとつのグループは、特定検診、特定保健指導の向上を研修テーマとして今後の取り組みに期待している。
この制度は重要と考え更に充実させたいと考える。

(質問)

いつ頃から進めるのか。



然別湖畔の周辺を視察

狩野 正雄議員

然別湖周辺の観光施設整備と利活用策について



加納 茂議員

ジオパーク認定に向けたエントランス施設について



飯沼 新吾議員

職員の提案制度の更なる充実を・・・



宮城県南三陸町での職員の消毒活動

